

私と交通安全

(兵庫) 株H運送 M・T (女性)

私は現在、セメントバラ車(積載量14トン)の乗務員です。平成20年4月に弊社に乗務員として入社し、約5年が経過しましたが、未熟なところが多く先輩の温かいご指導を受けながら女性のプロ乗務員を目指しています。

入社当初は、物流倉庫グループに配置され、4トン箱車に乗務し、主として食品の配送業務を担当していました。配送先などでは、「トラックの間からお客さんが出てくる」「バックしていると後方を人や車が横切る」「住宅街を走行中、4~5歳の幼児がボールを追いかけて路地からいきなり飛び出してくる」など、様々な危険が潜んでいることを体験しました。日が経つにつれ仕事の慣れと共に見落としや単純ミスにより、物損事故を3回起こしています。

1件目は、平成20年5月に、顧客先の荷卸し場で納品のため後退中、関西電力の電柱に接触し、折損(後方確認不足)

2件目は、平成21年7月に、4トン箱車の観音扉を閉め忘れて走行中、右扉を対向車に接触(観音扉の閉め忘れ)

3件目は、平成21年9月に、顧客先の荷卸し場から道路上に後退中、後方に停車していたお客様の自動車に衝突(後方確認不足)

幸い人身事故はなく、またトラブルに発展することもなく解決しています。重大事故であれ、軽微な事故であれ原因はわずか0.5秒程度であり、事故を起こせば配送製品の品質上にも影響があり、軽微な事故と言えども起こしてはいけないと思うようになりました。

事故の分析をしてみると、自分の腕を過信し、後退するときに自動車の死角になって見えない、また見にくい場所があっても、「まあ一ええかー」と横着したり、前方から他社のトラックが荷卸しするため待っていると「早く荷卸ししよう」と焦ったりしたことが事故の原因になっています。いずれの事故も「少しの油断」「ついうっかり」「焦り」を原因とした単純なヒューマンエラーであります。「当たらないだろう」、「面倒くさい」と言った甘い考えで、安全確認を怠ったりしていました。事故を反省しますと、運転技術ではなく、「心」の在り方が主原因であると思います。

弊社のトラック等は全てバック・モニターとドライブレコーダーが装着されていますが、それでも後退事故が1~2件あります。バック・モニターは、構造上、上部が死角になっており、それをカバーするため弊社では、後退するときは運転席から一旦降車し、目視確認することがルール化されています。

私はバック事故を2件起こしていますが、「バックするときは一旦、降車して目視確認するといっても、邪魔くさい。また、そんな簡単なことは何時でも出来る」と思い、実行していませんでした。今思えば、横着な考え方をしていた自分を恥じ、反省をしています。

私は幼少のころから、自動車の運転が好きで、最終的には大型トレーラーを運転することが夢でした。入社当初は、4トン箱車の乗務員でしたが、平成24年1月からセメントバラ車(14トン)大型貨物に乗車した後、平成25年4月から先輩乗務員の指導の下、念願のセメントバラ車(20トン)セミトレーラーに乗務するようになりました。

入社する前は、踏切不停止違反や速度違反などがありました。踏切では当然、停止しなければなりません、左右を確認すると電車が来ておらず、「一時停止しなくても事故を起こすことはない。」と身勝手な判断で減速した後、直ぐに加速していました。

また、入社当初は、乗務員としての意識は低く、自動車の運転が好きで漫然と運転していただけで、安全に対する意識はありませんでした。

しかし、夢が実現している今、「私はプロ乗務員である。」という思いが日増しに強くなってきました。そして運転免許証はゴールドでなければならないと思うようにもなりました。

実は入社前に携帯電話使用等の違反がありますが、それ以降、交通違反はありません。平成26年5月の免許更新時にはゴールド免許になるよう日々、安全運転に心掛けています。

弊社では、他の乗務員から提出されたヒヤリ・ハット情報は管理者から紹介されたり、掲示板に掲示されています。「なるほど、そんな危険があったのか」と他人のヒヤリ・ハット情報を見て、自分の体験に置き換え危険感受性を高めています。

また、月に1回開催される安全会議の席上、交通ルールの解説があり忘れかけていた交通ルールが理解できるようになりました。理解した交通ルールを現場で遵守することは、交通違反にならないと言うだけでなく、事故の未然防止につながる「安全の種」であることが少し理解できるようになりました。

また、無事故でお客様に配送することは顧客から信用・信頼が得られるほか、無駄な車両修理の出費、事故処理に無駄な時間を費やすこともない。無事故・無違反は、自分自身だけのことではなく、輸送品質を保持し、会社の信用力、知名度も向上するという幅広いメリットが生まれることとなります。

私は身長153cmと小柄のため、14トンのセメントバラ車を運転し、顧客先に到着すると当初「誰に乘せて貰って来たん」と言われてきました。

私の最終目標は、「彼女に任せれば、希望の時間に製品を安全に届けてくれる愛嬌のある女性プロドライバーである。」と言われることです。そのため、先輩の指導や会社の指示をしっかりと守って、決して横着せず、顧客先に到着すれば笑顔であいさつする。

そして弊社のスローガン「私はルールを守り、マナーを守り、決めたことは必ず実行します」及び輸送安全5か条「①仕事のパートナー(車)しっかり点検 ②しっかり睡眠心と体の健康管理 ③推測に頼らず目で確認 手足で確認 ④怒りおごり焦りは禁物非常心」などを守って、お客様からもセミトレーラーの女性プロ乗務員と言われるよう日々、安全運転に心がけています。